

クリティカルシンキング勉強会

平成27年12月17日(木)

名城大学の平山勉先生をお招きして、クリティカルシンキングの勉強会を開きました。今回は、平山先生に教えていただいた内容と明治図書から出ている「保育者のためのクリティカルシンキング入門」谷川裕稔著書を参考に甚目寺小学校の現職教育に当てはめてまとめました。

1 クリティカルシンキングって何？

クリティカルシンキング (critical thinking) とは柔軟な思考です。既成概念にとらわれない自由な思考です。型にはまったものの見方や考え方を見直すという態度です。

クリティカルシンキング (critical thinking) = 柔軟な思考

クリティカルに考えるって？

- ・ 別のやり方や考え方はないかを考えてみる。
- ・ どうしてそうなるのか (そういえるのか) を考えてみる。

何が身につくの？

- ・ 自分の考えに固執することからの解放
- ・ 問題解決の手がかりの獲得
- ・ 異見 (人と異なる見解) の受容

☆ つまり、クリティカルシンキングを身につけることにより、冷静かつ客観的にモノごとを判断できるようになる。

2 ESDとクリティカルシンキング

- (1) ESDで身に付けたい七つの能力・態度の1番目に「批判的に考える力」がある。
- (2) 12月5日(土)に、東京で開かれたユネスコスクール全国大会の際にも、「批判的に考える力」の重要性が強調されており、その際「クリティカルシンキング」の手法が役に立つという話があった。

その時の聞き取りメモの概要 「人材育成についてどうしていけばよいか」

午前中の特別対談として安西祐一郎先生 (日本ユネスコ国内委員会会長) と坂東眞理子先生 (昭和女子大学理事長・学長) とが話された中で、クリティカルシンキングの話題が登場しました。

知識の量を増やすのではなく、多様な人が一緒になって仕事をし、学んでいく。知識だけでなく、コンピテンシー (能力) や態度も身に付けなければならない。それをどうサポートしていくか。論理的思考を育てるには…フランスでCOP21が開かれたが、例えば、石炭は悪い→悪い物は止める→代替はよい→よいものはやる

今は、そんな考え方で進められているが、果たしてそれでよいのか。石炭は本当に悪いのか？代替は本当によいのか？…思考力の中は何なのか？結局そこまで踏み込んでいかなければならない。それに答えを出していかなければ。それを作り出す時代。クリティカルシンキングは一つの方法として重要となる。

3 今の甚目寺小の話し合い活動をどうすればクリティカルシンキングなの？

(1) 甚目寺小学校の話し合い活動

- ① 傾聴（相手の話に耳を傾ける）
- ② 仕分け（自分達の考えを付箋やシンキングツールを使って整理する）
- ③ 高め合い（シンキングツール等で整理された内容を吟味する）

この①から③の流れで行っている。

(2) クリティカルシンキングの視点でみた甚目寺小の話し合い活動

① 傾聴（相手の話に耳を傾ける）について

ソーシャルスキルトレーニングやアサーショントレーニングを通して、計画的に各学年で傾聴する態度を身に付けている。あくまでも話し合いの基盤になっている。これは、クリティカルシンキングの重要な態度である。

② 仕分け（自分達の考えを付箋やシンキングツールを使って整理する）について

クリティカルシンキングでいうところの「別のやり方や考え方はないかを考えてみること」「問題解決の手がかりの獲得」に当てはまる。

③ 高め合い（シンキングツール等で整理された内容を吟味する）について

クリティカルシンキングでいうところの「どうしてそうなるのか（そういえるのか）を考えてみること」に当てはまる。

(3) クリティカルシンキングの視点でみた甚目寺小の話し合い活動の改善点

① 傾聴（相手の話に耳を傾ける）が実践の中で明確でない

そこで、一つの試案として思いついたことを提案します。

付箋紙に書いた自分の考えを、グループ内でシンキングツール等でまとめる作業については、今までどちらかという作業的な時間として、貼った付箋を相談しながらカテゴリーごとに分類していた。

そこに傾聴の要素を組み込みたい。一人一人自分の考えをしっかりと説明してから付箋紙を分類しながら貼っていくようにしてはどうだろうか。低学年の場合は、付箋紙に書いたことをそのまま読み上げるだけでよいし、高学年になれば、それに肉付けして説明する。そこで大切なことは、相手の話に対して決して否定しないこと。頷いたり相づちをうったりしながら聞くようにすること。

今回のクリティカルシンキング勉強会を通して、こんな一つの試案にたどり着きました。来年度に向けていろいろとよい方法を職員で考えていきたいと思います。今回は、このような新たな視点で甚目寺小の実践を見直す機会を与えていただいた平山先生に感謝申し上げます。ありがとうございました。

